

用語集

アイテム

品目のことです。お客様が識別できる商品の最小分類、商品管理上、これ以上細かく分類する必要のない最小項目。

安全在庫

在庫量がこれ以下になったときに、補充をしないと、次回補充タイミングまでに在庫量がどんどん減っていき、品切れをおこしてしまう、最低の在庫（量）をいいます。

ABC分析

重点的に管理するための分析法です。アイテムが多い場合の商品管理に用いられることが多い。ABCの三つのクラスに分け、各クラスに合致した管理方法によって、効率的な管理をするやり方です。

買取り

仕入の一つのやり方で、返品をしない条件ですべての商品を引き取るやり方です。仕入原価を下げるに有効ですが、売れ残った時のリスクを負うことになります。

格下げ

値下げのことです。

クレンリネス

照り映るようにみがきあげられたきれいさをいいます。衛生的な清潔さをいうクリーンネスとは異なります。

現金割引

支払手形や期日を遅らせた銀行決済と異なり販売時点での現金決済する事により仕入値の割引を行う取引形態をいいます。

在庫維持費

在庫を保管するための倉庫や店舗のスペース保守や保険および利息の経費です。一般的に商品単価の20%～30%の比率があります。

在庫管理

商品および消耗品などの物品について、仕入から販売にいたるまでの間で、内容、量ともに最も機会損失を少なくするように処理することです。実際には、その間の移動、保管、増減の記録とその報告などにより、適正量を維持するように調整することです。

仕入管理

消費者の求める商品を、消費者の求めるタイミングで提供するために、いつ、何を、どれだけ、どこから、いくらで仕入れるかを計画し実行することです。

仕入伝票

何を、いつ、どこから、いくらで、どれだけ仕入れたかを企業間で確認するための伝票で、相互に請求、支払処理につながる商品とお金のやりとりの基礎となる重要な伝票。

仕入枠

仕入計画では、月単位とか三ヶ月単位で利益計画に基づく仕入量を事前に決めます。この決められた仕入量を仕入枠といいます。仕入活動においては、この仕入枠を越えないようにコントロールしていきます。

指數平滑法

移動平均を変型した引き延ばし予測法です。

今期の新しい平均

$$= \alpha \times \text{今期の実績値} + (1 - \alpha) \times \text{前期の平均}$$

α を平滑数と呼び、0と1の間の値を選定して使います。

1に近い平滑定数を用いるほど、新しい変化に速く追従することになり、逆に0に近い平滑定数を用いるほど、過去の歴史を重くみることになります。

需要予測

仕入商品の将来の需要を推測することです。予測であるから当たらぬことが多いが、当たりにくいからこそ、できるだけ精密に予測して変化に対応できる態勢を作っていく必要があります。予測方法として、次のような方法があります。

① 計量モデル分析

その商品の需要と相関関係のあるものを見つけて、それから推定するやり方です。

② 時系列法

過去の需要実績の傾向線を引き延ばして予測する方法です。相関関係のあるものが見つからないときに用いられます。

③ 類推法

①のように相関関係が実証できないが、他の指標から類推し、予測する方法です。

④ 直接調査法

商業ではありませんが、直接消費者から購買予定を聞く方法です。

実地棚卸し

商品、材料、仕掛け品、消耗品などの在庫状態を实物で確認する作業をいいます。決算、税務を目的にする場合、品種ごとに金額だけ集計しますが、商品管理が目的の場合、単品ごとに数量をつかむことをします。いわゆる单品棚卸しです。

数量割引

大量に売買することにより、その仕入値の割引を行う取引状態をいいます。

帳簿在庫

商品の在庫を、金額的にその増減を記録することによって計算したものをいいます。いわゆるあるべき在庫です。

帳簿在庫は、一般にその計算を簡単にするために、売価によって算出されます。すなわち、期首売上在庫に、期中仕入高を売価に換算したいわゆる期中仕入高を加え、実績売上高を差し引いた残高（売価）です。通常、帳簿在庫は、原価で、部門別に毎日算出されていることが重要です。

しかし、現実には、原価ではなく売価で算出するケースが多くあります。これは毎日の実績売上げに対応する正確な売上原価の算出が困難なためです。

適正在庫

もっとも機会損失の少ない状態の商品在庫をいいます。商品在庫量が多いときは、金利、陳腐化による見切り損失、倉庫設備などの在庫維持費が増加し、さらに限られたスペースに、より有利なものを置くことができなかつたという機会損失が生じます。

反対に、商品在庫量が少ないとときは、在庫維持費は節約されますが、豊富さの欠如による売上げの減少、品切れによる売り損いという機会損失が生じます。

この、在庫維持費と品切れ損失の合計額が、もっとも少ないととき機会損失が最小になるわけです。

適正在庫は、アイテムごとの適正在庫量の積み重ねです。

デッドストック

死蔵品のことです。デッドストックは、過剰在庫の原因となり、商品回転率を低下させ、商品ロスの発生源となります。資金的には在庫投資資金の固定化を意味しますから、資金効率の低下をもたらします。

デッドストックの反対は、ランニングストック（運転在庫）といい、ある営業規模における利益を生むために必要な在庫をいいます。

発注残

発注行為は行ったが、まだ納品されない在庫のことをいいます。

リードタイム

調達期間のことをいいます。小売業では、商品の発注から陳列完了までの時間をいいます。入荷までの時間をいうものではありません。